

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年11月9日（月）～平成27年11月15日（日）〔第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.09人と前週（6.45人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.39人と前週（2.70人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

水痘の定点当たり患者報告数は1.24人と前週（0.39人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



「ノロウイルス食中毒警戒情報」発令中！！

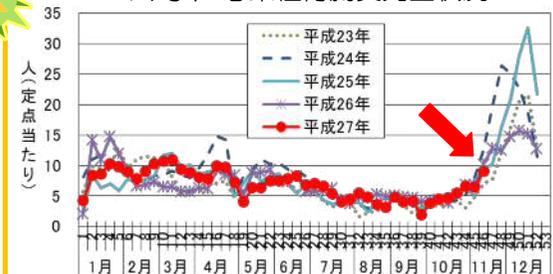
神奈川県では、平成27年11月2日（月曜日）に、「ノロウイルス食中毒警戒情報」が発令されました。

ノロウイルスは、特に冬期において、下痢やおう吐などの症状が出る「感染性胃腸炎」の主な原因となり、大規模な食中毒を引き起こすこともあるため、予防の徹底が大切です。

食中毒予防のポイント

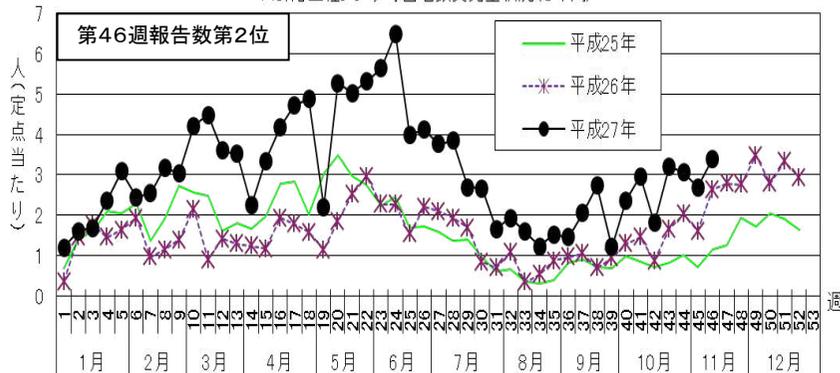
- ①食事や調理の前、トイレの後などは、**必ず手を洗いましょう。**
- ②おう吐物等は適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
- ③加熱が必要な食品は、**中心部までしっかり加熱（85～90℃で90秒以上）して食べましょう。**
- ④包丁、まな板、ふきん等の調理器具等は、使用後に**洗浄、殺菌**をしましょう。
- ⑤下痢やおう吐等がある場合は、**食品を直接取り扱う作業は控えましょう。**

川崎市 感染性胃腸炎発生状況



感染性胃腸炎患者は、例年、11月頃から年末にかけて増加します。
一人一人が予防を徹底し、「感染しない・感染させない」心がけを持つことが大切です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

